

「やまなし介護感動ストーリー大賞」受賞コメント

■グランプリ「母のヘアスタイル」：菅尾尚子さん

小さな出来事のお話で大賞をいただき、びっくりしています。

家族の介護は、時に辛いこともあります。私は、母の介護が本当に大変だったとき、介護士さんの心遣いに救われました。家族に近い気持ちで介護を分担してくれる人がいると感じ、肩の荷が軽くなったのです。感謝しかありません。

「介護」は、人を励ましたり、感動させたりできる、すてきなお仕事。この漫画を読んで、興味を持ってくださる方が増えるとうれしいです。



■準グランプリ「お兄ちゃん、ボタンつけて」：若林大貴さん

この度は準グランプリに選出いただきありがとうございます。日々ご指導をいただき職員の方々に、未熟な私に心温まる言葉をかけてくださるご利用者様のおかげで楽しく仕事に励むことができ、今回の受賞につながったと感じております。厚く御礼を申し上げます。

天国の祖父にもうれしい報告ができ、感慨深く思っております。

これからも感謝と恩返し気持ちを初心として忘れず、介護の仕事に励んでまいります。



■準グランプリ「最後の野球観戦」：中村昌史さん

この度は準グランプリをいただき、心から感謝申し上げます。介護の仕事といえば、食事介助、排泄介助、入浴介助などのイメージが強いかと思います。しかし、施設の種類や利用者さんの介護度によっては、身体介護以外の仕事メインとなることもあります。

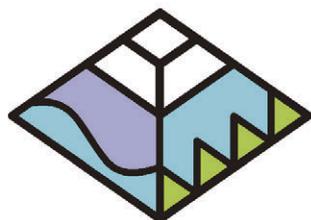
介護の仕事は、その方の人生に関わり喜びを共有できるすてきな仕事です。今回の漫画をきっかけに、介護の仕事に興味を持っていただけると幸いです。



「やまなし介護感動ストーリー大賞」につきましては、山梨県のホームページでもご覧になれます。

<https://www.pref.yamanashi.jp/chouju/kaigokandou.html>





YAMANASHI

山梨県